

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成23年 4月 1日 ～ 平成28年 3月31日
3. 業務の範囲	(1) 図書館法第3条各号に規定する事項に関すること。 (2) 図書館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (3) 市史販売等に係る料金の徴収に関すること。 (4) 読書の普及活動及び読書団体の支援に関すること。 (5) 図書館法第2条に掲げる目的のために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 4点	年次報告書P183,202(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H26度実績)÷(過去3年間実績平均値)) 開館日数:301日(H23:295日、H24:298日、H25:299日) <1日当たりの貸出冊数> 図書館本館:平均値比95% =2,105冊÷2,214冊 子ども情報センター:平均値比112% =155冊÷138冊	4点				
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	・図書館本館:平均値比(96%)=利用冊数(633,905冊)÷658,218冊(上記(2)適用) ・子ども情報センター:平均値比(114%)= 利用冊数(46,715冊)÷40,938冊(上記(2)適用)	105%未満～95% 4点	図書館 4点 子ども情報センター 5点 ※ 点数の比率を2施設の指定管理料の割合で計算(図書館本館:子ども情報センター＝8:2) 総合点 4.2点	4点				
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	【図書館】 年次報告書P185～196(文化事業一覧) ・多治見市文芸祭 【子ども情報センター】 年次報告書P205～208(文化事業一覧) ・子ども情報センターまつり	仕様書に忠実 11点	適正に実施されている 図書館本館 11点 子ども情報センター 11点	11点				
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	【図書館】 年次報告書P185～196(文化事業一覧) ・英語多読講演会・多読クラブ ・郷土資料(写真/パネル)を地域の学校や福祉の現場に活用 ・Amazonオールタイムベスト児童文学100 本館で展示後、市内小中学校を巡回 ・まなバ・フェスティバル ・放課後文庫の貸出開始(100冊程度をセットして月替わりに配送・引き取りを行うサービス) 【子ども情報センター】 年次報告書P205～208(文化事業一覧) ・中学生・高校生が活躍するプログラム(たじみオープンキャンパスUー19) ・ぬいぐるみのおとまり会 ・おはなしの会 ・高校生ギャラリー事業 ティーンズ世代に発表の場を 多治見工業高校写真部「ぼくらの夏」ほか	期待以上 14点	【図書館】 ・多くの人に本を読んでもらおうとする工夫がされている。 ・郷土資料を介護施設での回想法や学校での教材にと幅広い活用ができた。 【子ども情報センター】 ・ティーンズ世代の活躍を伝える場の提供ができた。 ・子どもの心をとらえる事業を展開している。 図書館本館 14点 子ども情報センター 14点 ※ 点数の比率を2施設の指定管理料の割合で計算(図書館本館:子ども情報センター＝8:2) 総合点 14点	14点				
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	本館:年次報告書P175(維持管理業務) 子ども情報センター:年次報告書P210(維持管理業務) 定期清掃、日常清掃を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点					
		②保守・点検			本館:年次報告書P175(維持管理業務) 子ども情報センター:年次報告書P210(維持管理業務)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。						
		③保安・警備			本館:学習館があわせて実施 子ども情報センター:機械警備業務を委託して実施(毎日)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。						
		④小規模修繕			本館:年次報告書P198(有償修理の内訳) 有償修理 全6件 総額 8,545,020 円 子ども情報センター:年次報告書P210(有償修理の内訳) 有償修理 全7件 総額 198,895 円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 「まな美・プロジェクト」の実施 2階～6階フロアと階段部の絨毯の張替え						
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			特になし	適正(普通) 2点							

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	市に準拠した方法で管理している(ファイリングシステム)。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	12点
			②環境への配慮			【図書館】 ・照明をLED照明に取り替え ・館内6箇所の壁掛扇風機と空調設備とを併用。 ・無人時の事務所、閉架書庫等の消灯、空調の温度管理の徹底。 【子ども情報センター】 ・ごみはすべて分別し、再利用できるものは資源化。 ・敷地内の緑化スペースを確保し、植木の剪定や花壇の整備をしている。 ・トイレの電気は、使用時の点灯をお願いしています。 ・コピー機は、環境負荷の少ないグリーン規格のリユース品を使用。 ・1階図書室窓の網戸を活用し、自然の風を取り入れる。窓にはUVカットのシートを張り、ブラインドを全開にする。	期待以上 3点	両館ともに省エネに努めており、評価できる。	
			③バリアフリー			【図書館】 ・耳マークを2、3階カウンターに設置。筆談用の小型ホワイトボードの用意 ・全職員が視覚障がい者の誘導の方法について自己研修を行い対応できるようにした。 ・カウンター以外に記載台にも杖の置き場としてステッキホルダーを設置。 ・文字が見づらい利用者に録音図書を貸出。来館が困難な視覚障がい者へは郵送するサービスを実施。新たにに所蔵CD、DVDの郵送貸出サービスも開始。 【子ども情報センター】 ・障がいのある方が利用される場合には、その都度職員が対応する体制をとっている。 ・道路から玄関までのスロープに危険がないかどうか毎日チェック ・ベビーカーの置き場所を広く確保	期待以上 3点	適正に実施されている。 聴覚障がい者のために「耳マーク」などソフト面でのバリアフリーに努めている。	
			④備品管理			【図書館】 ・備品台帳により、故障や外観の点検を行い適正に管理をしている。 【子ども情報センター】 備品はすべて定位置を決めて保管し、必要以上に在庫を持たないことで、管理棚の省スペース化を徹底している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			多治見市文化振興事業団「個人情報保護方針」に基づき実施している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	特になし	
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入136,519,713円÷支出136,253,863円＝100%	105%未満～100% 4点	指定管理委託料の範囲内で適正に事業が行われている。	4点
4	市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	【図書館】 ・閉架書庫の資料のリストを希望する声に特に需要の多いコミックの展示とリスト配布を実施 ・聴覚障がいのある利用者から、カウンターでの対応をスムーズに行うためのサインの設置要望があり、耳マークを2、3階カウンターに設置。また筆談用の小型ホワイトボードを用意 ・視覚障がいのある利用者の方から、誘導を希望されたので、図書館職員が誘導。同時に全職員が視覚障がい者の誘導の方法について確認し対応できるようにした。 ・英語多読資料リストの一覧表を希望されたので、リストを作成し紙媒体での配布等閲覧可能にした。 ・新刊案内板の前で、すぐ予約カードの記入をできるようにしている。 ・初めての来館者にも館内の本の場所がわかる案内図を配布。 ・子どもの目線の位置にトイレや水飲み場の案内表示を設置。 ・コミュニティバス、東鉄バスの時刻表を3階カウンター付近に設置。 ・館内使用に限っていたデジタル録音機の館外貸出を福祉関連のボランティア活動者にも貸出。 【子ども情報センター】 平日の午前中、乳幼児とその保護者向けに、子育て中のお母さんをサポートする講座として、親子で参加できる講座を開講。時間帯やプログラム内容は、おうちでできる簡単な散髪の講座、お母さんと一緒にリズム遊びを楽しむ親子リトミック、英語講座など、赤ちゃんとお母さんが一緒に参加することで、親子の時間を大切に過ごすことができるばかりでなく、親同士の交流を深める場ともなり、孤立しがちな子育てを支援することができた。	期待以上 8点	さまざまなニーズに迅速かつ適切に対応し、利便性向上につながった。	8点	

より良い施設運営のための取組 (30点)	②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	【図書館】 特になし 【子ども情報センター】 特になし	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情に適切に対応した。	4点
	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	【図書館からの提案】 ・保健センターの4ヶ月検診に合わせブックスタート事業を展開している。そのフォローアップ事業としてお話し会を開催し図書館に親子で来ていただくきっかけづくりをしている。ママズカフェの子育てサポートセンターとの共催など、今後も親子で来館しやすい事業の開催や環境整備を継続して行っていきたい。 ・市内親子支援事業の開催日程や内容などの情報共有を行い、親子が行く場所の選択肢を広げるような調整をしていきたい。 【子ども情報センターからの提案】 ・「館内でのおしゃべりOK」という新しい形態の施設として、利用者への告知を丁寧に行い、常に様々な形でアプローチしていきたい。 ・四季折々に合わせた季節のイベントや行事の本を集めた展示など、本を選ぶ際のサポート。 ・戸外の芝生スペースを親子連れで気持ちよく過ごしてもらうために、環境整備。 ・ティーンズ世代を対象としたヤングアダルトコーナーでは、子ども達の“今”を聞き取り、コミュニケーションのツールとなるよう努めている。 また、学習に集中できる私語禁止の2階研修室を、子どもたちのニーズに合わせて用意している。 ・家族単位での来館が増加しているので、家族で参加できるよう交流事業を企画していく。 ・本を貸すだけではなく、子ども達が活動、活躍できる場所として施設を捉えているので、子ども同士が交流し、主体的に活動できる事業に取り組みます。	期待以上 12点	【図書館】 ・平成27年ママズカフェが1階の喫茶室をオープンさせることも含めて、子育てサポートセンターとの連携をおおいに期待する。 ・ 【子ども情報センター】 ・貸出人数、貸し出し冊数ともに年々増加している。 ・企画事業にも毎年工夫が見られ、高く評価できる。今後も赤ちゃんからティーンズ、ママ達のための、さまざまな事業を展開されるよう期待する。 図書館本館 12点 子ども情報センター 13点 ※ 点数の比率を2施設の指定管理料の割合で計算(図書館本館:子ども情報センター＝8:2) 総合点 12.2点	12点
5 その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3		遅れ・不備なし 減点なし		0点
	(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3		指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 ○図書館本館 ・貸出人数、冊数ともに増加傾向にある。 放課後文庫の貸出開始など読書支援事業の効果が表れている。 ・郷土資料室の新しい活用方法を考え、貸出が順調に伸びている。 ・英語読書の提案を行い、コーナーの設置、講演会の開催、継続学習のための支援を行った。 ・各年代層に向けての利用の提案を行い、新規利用者の獲得を図った ・耳マークの設置など障がい者に思いやりの心で対応できた。 ○子ども情報センター ・たじみオープンキャンパスU-19、高校生ギャラリー事業、わくわくワークショップ等で中学生や高校生が日頃の成果を発表したり、得意な分野を活かして活躍したりできるような場面を創り出すことができた。 ・豊富な図書館情報を活かす取組みがなされている。 ・ゆったりとした空間で、職員と共に本に触れる環境が整っているため、貸出人数、貸出冊数共に増加につながった。	合計83点 良好